

琴の浦荘だより

新型コロナウイルスの影響により各種イベントが中止となってしまうなか、利用者様がどの様に過ごされているか、荘内の様子をお伝えいたします。

七夕



今年も琴の浦荘では、いたるところで七夕飾りが飾られました。皆さんで協力しながら飾りつけを行った笹の葉には、それぞれの思いを込めた短冊が下げられていました。「健康、家族、夢」自分の大事なものを言葉にすることで気付けることもあるそうです。そこに向かって努力することもできるでしょう。コロナに負けない。きっと叶えたいと思います。

スイカ割り 荘内のご様子



夏の風物詩と言えばスイカ割り！皆様童心に帰り一生懸命にスイカを叩き、大盛り上がりでした。皮が固くなかなか割れずに悪戦苦闘、それだけに割れると拍手喝采大喜びでした。切り分けて食べてみると甘くておいしい！「皮が固いと甘いのかな」などと話しながら仲良くいただきました。

花笠踊り



外出や面会もままならない中、入居者様に何かできることはないかと考え、職員による花笠踊りを披露しました。皆さん予想以上に大騒ぎ！普段は静かなあの方も祭囃子に自然と体が動き出します。手拍子に掛け声とにぎやかなひと時となりました。

お誕生会



琴の浦荘では6月、7月で誕生日を迎えた方が6名いらっしゃいました。おめでとうございます。皆様これからも末永く宜しくお願いします。そんな思いを込めてささやかながら誕生会を行っております。皆さんで楽しくお祝いをしましたが、やはりご家族から届いたプレゼントは格別のもの。添えられたメッセージに涙ぐむ姿も。安心して毎日を過ごし年を重ねて頂けるよう気を引き締めて励んでまいります。

ヴァイオリンコンサート



当職員で機能訓練指導員をしている松嶋氏によるヴァイオリンの演奏を行いました。馴染みある曲を、皆さん歌詞カードを手と一緒に歌われました。今回演奏してくれた当施設職員はアマチュアオーケストラの「フィルハーモニックオーケストラ長崎」に所属しており、日々の練習に励んでいます。もし、機会がありましたら演奏を聴いてみてください。

形上小学校福祉学習



今年も形上小学校の福祉学習として高齢者疑似体験学習を行いました。四年生の皆さんに、装具を付けて高齢者になりきってもらい、体の不自由さや、やりたいことが思ったように出来ない事を実感することで、高齢者の気持ちに少し近づけていたように思います。



防災訓練



夜間帯の火災発生を想定し、4人一組で①火災発生場所の確認②初期消火③館内放送④連絡⑤避難開始までの一連の流れを行いました。一日2組、3週間ほどで職員全員が参加しました。毎年この時期に行っており、避難誘導までの全体的な流れや館内放送の方法などを再確認しています。



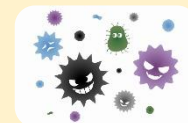
褥瘡予防勉強会



琴の浦荘では褥瘡予防の為に褥瘡のできやすさを図るブレーデンスケールというものを活用しています。今回はこのブレーデンスケールの作成方法について勉強会を開きました。複数の観点から状況を把握し評価していくことになるのですが、勉強会という場において皆で議論を行うことは大変良い機会となりました。



食中毒勉強会



暑さも増し、食中毒が発生しやすい時期となりました。食中毒予防で大切な事は菌を「つけない」こと、その為には正しい手洗いが重要です。普段の手洗いでどのくらい汚れが落ちているのか、特殊な塗料を用い確認しました。また、煮込み料理は常温である状態が長くなると食中毒菌が増殖してしまう為、しっかりと再加熱し殺菌をする事が重要だと学びました。